

(別記)

海部南部地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、愛知県の南西端に位置し、気候は温暖で、木曾川下流に開拓された水郷地帯としての歴史は古く、稲作地帯として知られてきたが、昭和34年の伊勢湾台風を契機に行われた土地基盤整備事業、木曾川用水事業等の実施により恵まれた土地的、社会的条件のもとに県下でも有数の農業地帯として発展している。

水田作では、主食用米面積の割合が約60%で、転作作物では小麦、大豆の占める面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。また、以前より国の指針に沿った生産調整を遂行するとともに食料自給力向上のために麦、大豆の振興を図る。

しかし、小麦、大豆の作付けが困難な地域もあり、米の需給が減少する状況下で、加工用米や飼料用米への転換を促進することで長期的・安定的な水田経営に取り組んでいる。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、集落機能の低下および不作付地の発生が危惧されている。こうした中、農地バンクの活用など持続可能な水田活用の推進は喫緊の課題となっている。

そのような状況において、行政を中心に地域の中心的な担い手への面的集積を積極的に推進しており、担い手も水田フル活用するため、品質・収量を維持しつつ積極的な二毛作に取り組んでおり、1俵単価から10a単価へと総合的な経営ビジョンにシフトしつつある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

近年の需給の引き締めにより、米価は高めに推移しているが、とりわけ実需者からの要望が強い業務用米など需要動向を踏まえつつ、「安全・安心」、「低コスト」な米生産を基本的な柱として継続的な取組を推進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

需要に応じた米生産を推進する上で、飼料用米は引き続き転作の中心的な作物として位置づけされている。28年度の全国的な作付面積の拡大傾向は、ひと段落したが、需要に応じた生産を目指す。

イ 加工用米

当該地域は、米の生産調整作物として麦大豆を振興し、高品質な麦大豆生産の安定的な供給を推進している。しかし、麦大豆が不適な地域では、加工用米での生産調整を行っており、加工用米の作付は欠かすことができない状況となっている。また、近年の加工用米品薄状況を踏まえ、さらなる作付拡大を推進する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

当該地域の麦は県下でも有数の産地であるとともに、更なる品質・収量の向上を図る。また、大豆、飼料作物は、転作作物の中心的な作物として位置付け、水稲との二毛作で栽培する作物としても重要品目であるので、これを推進する。

(4) 高収益作物（野菜）

当該地域においてはトマトを始めブランド化を進めており、収益力向上のために積極的な拡大を推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	1,660	1,560	1,560
飼料用米	140	60	60
米粉用米			
新市場開拓用米	0	5	7
WCS 用稲			
加工用米	70	134	137
備蓄米	14		5
麦	632	637	640
大豆	440	430	430
飼料作物		1	1
そば			
なたね			
その他地域振興作物	114	117	120
野菜	97	99	101
花き・花木	13	14	15
果樹	4	4	4
.			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	麦	担い手による麦の水田高度利用への支援	作付面積	(29年度) 530.4ha	(32年度) 534.5ha
2	麦、大豆、加工用米、新市場開拓米、野菜	担い手による二毛作への支援	作付面積 (麦) (大豆) (加工用米) (新市場開拓米) (野菜) (計)	(29年度) 82.9ha 406.6ha 39.4ha 0ha 4.2ha 533.1ha	(32年度) 19.0ha 409.5ha 105.0ha 7.0ha 7.0ha 547.5ha
3	麦	担い手による小麦の低コスト化・生産性向上への支援	取組面積	(29年度) 104.4ha	(32年度) 108.0ha
4	大豆	担い手による大豆の品質向上・収量増収への支援	取組面積	(29年度) 14.3ha	(32年度) 15.2ha
5	大豆	担い手による大豆300A技術等の導入への支援	導入面積	(29年度) 30 ha	(32年度) 30.3 ha
6	野菜、花き・花木	担い手による高収益作物への支援	取組面積 (野菜) (花き・花木) (計)	(29年度) 29.4ha 6.7ha 36.1ha	(32年度) 31.8ha 7.4ha 39.2ha
7	加工用米	需要に応じた米生産のための加工用米への支援	取組面積	(29年度) 30.5ha	(32年度) 32.0ha
8	加工用米	加工用米の複数年契約（3年間）への支援	取組数量	(29年度) 42.8ト	—
9	飼料用米	需要に応じた米生産のための飼料用米への支援	取組面積	(29年度) 4.7ha	(32年度) 5.2ha
10	飼料用米 (多収品種)	飼料用米における多収品種の導入への支援	導入面積	(29年度) 8.5ha	(32年度) 11ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり